

**ハンドアウト
秘密**

秘密：君は元々魔術・異能の力にこだわりがないため、とりあえず入学できればいいという姿勢だ。そんな君の目的・使命は「1人以上のキャラクターと絆を結び、そのキャラクターと共に試験に合格すること」である。

**ハンドアウト
PC 1**

推奨クラス：
魔術師、異能者、覚醒者

君は魔術・異能の力を見いだされ魔術学院入学試験を受けることになった。

**ハンドアウト
秘密**

秘密：君は魔術学院トップエリートになると心を決めている！ それゆえ試験では最高成績を収めたい。そんな君の目的・使命は次の通りで、いずれかを達成する必要がある。

「試験官前で行う私見を一番最初に行う」

「クライマックス戦闘で最後まで残る」

**ハンドアウト
PC 2**

推奨クラス：
魔術師、異能者、覚醒者

君は魔術・異能の力を持った家柄で、その力を伸ばすため、将来家を継ぐため魔術学院入学試験を受けることにした。

ハンドアウト 秘密

秘密：君は魔術師の使い魔、従僕としての素養があるらしい。君の使命は試験合格と共に登場キャラクター達のいずれかと「絆」を結び「私を従僕としてください（もしくはそれに類似する言葉）」と告げることだ（エンディングフェイズまでに演出すればよい）。

ハンドアウト

PC 3

推奨クラス：一般人

君は何かの間違いで魔術学院に願書を出し、受験することになった。よくは分からないが合格をつかみ取らなければならない！

ハンドアウト 秘密

秘密：君は本来のクラスの特性上、魔術学院では素性を隠す必要がある。またそれを円滑に進めるための目的・使命は「登場キャラクターのいずれかとプラスの絆を結ぶ」である。

ハンドアウト

PC 4

推奨クラス：吸血鬼、代行者

君は本来魔術協会に関わらない者達なのだが、魔術の素養があるため試験を受けに来た。

<p>ハンドアウト 秘密</p> <p>・ 絆を結びに来た者には「そのようなヒマがあったら試験に取り組め！」と一喝し、マイナスの絆とする。</p> <p>・ 自身を試験官とした場合で判定に失敗した場合、指導を行い、次に同じ判定をする際に+4のボーナスを与える。</p>	<p>ハンドアウト</p>
	<p>ロード・エルメロイ二世</p> <p>試験官 1</p> <p>学院の教授で試験官を務める一人。</p>

<p>ハンドアウト 秘密</p> <p>受験生に追加試験を与える使命を自身に課している。</p> <p>・ 絆を結びに来た者にはプラスを結ぶ。さらに「私を友と呼びたいのなら力を証明しろ」といった内容の話をします。</p> <p>・ 自身を試験官とした場合、指定特技を指定する際の判定に±2で操作する（PC所持特技より遠くする）。</p>	<p>ハンドアウト</p>
	<p>ライネス</p> <p>試験官 2</p> <p>学院の生徒にして試験官の一人。</p>

ハンドアウト 秘密

マトーは落ちぶれ貴族の魔術師だ。学院に入り、エリートになることを目指している。受験ではトップに立とうと画策する。

能力：魔術師見習い Lv2

ハンドアウト マトー

受験生の一人

PC と同時期に受験する魔術師見習い。

18 歳の男で痩せ型、顔は平凡よりやや良いくらい、自信過剰な発言が多い。

ハンドアウト 秘密

魔術用の素材から、資料が大量にある。そのうち一つに「〇〇のルーンストーン攻略術」があった。

秘密を獲得した者は「試験 1：ルーンストーン」の素材、作成判定の全てで + 1 のボーナスを得る。

ハンドアウト 特異点

場所：学生寮

受験生が一時的に宿泊できる施設と試験用の魔術工房がある。この秘密を獲得するためには、情報判定を「起源」、「魔術」分野のいずれかの特技で行う必要がある。

**ハンドアウト
秘密**

グール発生は謎だが、定期的
に掃除する必要があるらしい。
PCがこれを見ると教会の牧師
が「掃除の時間ですので、よ
ろしくお願いします」と語り
掛けてくる。後にグールが1
体出現、戦闘が開始される。
戦闘参加者はシーンに登場し
ているPCがそれぞれ決定す
る。
戦闘：3ラウンド、生命力が
0になると脱落。

ハンドアウト

特異点

場所：郊外の教会

郊外にある教会で、いわゆる
代行者が所属する聖堂教会と
は異なる系統の教会。
墓地は高めの壁でおおわれて
いて、夜になるとグールが徘徊
すると言われている。

**ハンドアウト
秘密**

ここにいるゴーストは立ち入
った者を驚かせることで知ら
れている。
さらに一人驚かすたびに一体
が街中に飛び出してしまう困
った習性がある。

ハンドアウト

特異点

場所：精霊の森

霊的な力が強く集積した森。
魔術知識を持たない者が入れ
ばゴーストに驚かされ、迷い、
出られなくなると言われてい
る。

◆試験の手順

試験は次の手順で進める。それぞれの工程で1シーン使用するが、複数人登場可能な場合はまとめて1シーンとされる（他のPCのシーンで素材を集め、自身のシーンで作成することが可能）。

- 1：指定された素材を集める。
- 2：試験官を指定し、指定アイテムの「作成判定」を行う。判定を成功させることで試験完了。

◆試験1：ルーンストーン

試験：ルーン石の素材を作り出し、後に試験官の前でルーンストーンを作成する。この試験は個人でトライしなければならない。

素材入手：「魔術」分野からランダムに特技が指定され、その判定に成功すると「ルーン石の素材」を1つ作成することができる。

作成判定：「起源」、「伝承」のいずれかからランダムに特技が指定され、その判定に成功すると「〇〇のルーンストーン」を1つ作成することができる。〇〇には判定に使用した特技名が入る。

〇〇のルーンストーン：この特別なルーンストーンは「〇〇の特技」を所持しているかのように1度だけ判定に使用することができる。使用すると消滅する。

◆試験2：グールの標本

試験：素材「グールの眼」を1個入手し、試験官の前で魔術的な封印を施して瓶詰にする。

素材入手：グールは「郊外の教会」に生息、そこの秘密を獲得すれば出会うことができる。出会えば戦闘になり、倒せばグールの眼を入手（2個まで）できる。これは複数人でトライ可能。

作成判定：試験官を決め、その前で封印と瓶詰をランダムに指定される特技で判定する（代理判定は可能）。

◆試験3：精霊の杖

試験：素材「精霊の枝」を入手し、試験官の前で精霊の杖を作成すること。

素材入手：郊外にある指定された「精霊の森」へ行き、指定地点を通っていけば枝までたどりつけ、枝を入手（同時参加のキャラクターがいれば人数分）することができる。ランダムに指定される特技で3回判定し、すべて成功する必要がある。複数人でトライ可能。

- ・一度でも失敗すると入り口にもどされ、シーン終了となる。
- ・判定はシーンに登場している者の中から任意の者が行ってよい。

作成判定：試験官を決め、その前で杖の作成をランダムで指定される特技で判定する（代理判定は可能）。